



- [TOP] 一流企業TOPインタビュー
「東京モノレール株式会社」
- 2. Information / 5分でエッセンスが分かるビジネス書 /
5分で分かる!ビジネスキーワード
- 3. Information
- 4. みなとく名店「魚可津」
未来に託す技巧「株式会社 リンテック21」

TOP
INTERVIEW

東京モノレール株式会社
代表取締役社長 中村弘之 (なかむら・ひろゆき) 氏

都心と空港を結び50年 世界最高技術の車両導入

東京都心と羽田空港を結ぶ東京モノレールは、今年開業50周年を迎えます。2020年東京オリンピックでは多くの外国人利用客が見込まれる

中、外国人に対するサービスのあり方や、安全確保のための取り組み等について、中村弘之社長にお話を伺いました。



中村弘之氏 後の写真は開業当時の東京モノレール浜松町駅ビル

「お客様をはじめ地域や関係者の皆さんに対する感謝の気持ちと、モノレールの歴史や役割、魅力を再認識していただきたい」という2つの思いを込めて、50周年を記念した各種施策に取り組んでいます」(中村氏)

ホームページに50周年記念特設サイトを開設したほか、動画投稿サイト「ユーチューブ」に公式チャンネルをオープン。9月17日の開業記念日には、「感謝の集い」を開催し、次の50年に向けた「出発式」が行われる予定です。

1964年、東京オリンピック開催に合わせて開業した東京モノレールは、現在、浜松町駅と羽田空港第2ビル駅間、17.8kmを結ぶ空港アクセス機関として、年間4千500万人を超えるお客様が利用しています。2010年には羽田空港国際線ビル駅が開業し、世界の玄関口へのアクセスも便利になりました。



7月に運行開始予定の新型車両「10000形」

7月には、「スマートモノレール」をコンセプトとした新型車両「10000形」を導入。新型車両はスーツケース用置場を拡充し、インテリアには、座席や車両間の貫通扉等に「和」のおもてなしを演出するデザインを採用。情報サービスでは、4カ国語表示にも対応可能な案内用液晶ディスプレイを設置。公衆無線LANサービスを設置し、車内で高速インターネットが利用可能になります。

「省エネ性、環境性、リサイクル性の向上にもこだわり、製造から廃棄までのライフサイクルコストに着目して設計された点は、世界でも初めての試みだと思います」と、中村氏は話します。

完璧を求めず、ハートで外国人観光客をおもてなし

2020年、東京オリンピック開催が決定しました。来日する外国人の多くが、日本で最初に乗る交通機関としてモノレールを利用します。また、開催期間中は、大井競馬場前駅に新設される競技会場や、天王洲アイル駅を



英語や中国語で案内するモノレールアテンダント

經由し、お台場の競技会場へ向かう観客を輸送する手段としても、モノレールが活躍することになりそうです。

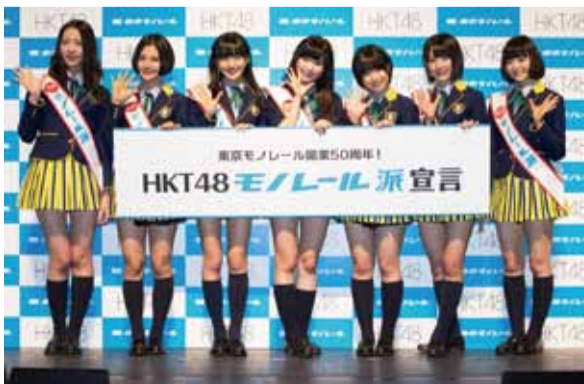
外国人利用客に対するサービスは、「ハードとハートが必要」と中村氏は言います。羽田空港国際線ビル駅に設置されたタッチパネル式デジタルサイネージ(電子看板)は、すでに4カ国語表示に対応。きっぷ売り場にいるモノレールアテンダントも英語のほかに、中国語等も勉強中で、今後はさらに多言語化の要請が増えることも予想されます。

ミス隠さない社風 開業以来、死傷事故ゼロ

とはいえ、「大事なのはハートです。オリンピック開催期間中は、対応しきれないくらい多様な言語のお客様が利用されます。完璧なサポートを求めるのではなく、サポートしたいという気持ちをもって、一歩前に出ていく姿勢が重要なのです」(中村氏)

驚くことに、東京モノレールでは開業以来、50年間で死傷事故がゼロです。「これまでのゼロは、これからのゼロを保証するものではありません。慢心することなく、地道に安全確保に努めていきたい」と気を引き締めます。

同社の会社指針の最初の項目には、次のように記されています。「私達は、安全を最優先し、法令や会社規則を遵守します」。お客様の大切な命を預かる鉄道事業者として、「責任追及より原因究明」「小さなミスを隠さない」「失敗は財産」「現場の声を大事に



「HKT48」をテレビCMに起用し、幅広い世代にモノレールの魅力を発信 ©AKS

「夢は東京駅乗り入れ」と話す中村氏の視線の先には、次の50年が映っているようです。

●連絡先
住所: 港区浜松町2-4-12
電話: 03-3434-1317 (代表)

今年、浜松町駅西口の再開発がスタートし、JRをはじめ地下鉄やバス等の交通機関が乗り入れる拠点として、将来は機能強化が進められます。

「安全、安定性、沿線の魅力、外国人にとってわかりやすいという強みに磨きをかけて、情報発信し、幅広いお客様の共感を得ていきたい」

今年2回実施している異時総合訓練では、「上手にやらないこと。弱点を見つけて出すことも訓練の目的の一つ」と指示を出しています。

「現場の小さな声を吸い上げるには、上司と部下の間に信頼関係がないといけません。小さなミスや失敗が出てきたら、隠さないで出したことをほめてあげること。管理担当者の意識を変えることが必要です」(中村氏)

「現場の小さな声を吸い上げるには、上司と部下の間に信頼関係がないといけません。小さなミスや失敗が出てきたら、隠さないで出したことをほめてあげること。管理担当者の意識を変えることが必要です」(中村氏)

INFORMATION 港区・その他

区のインフォメーション

小規模企業者の事業承継を支援します ＜補助金＞上限 300 万円・申込順 4 社程度

港区は、区内の小規模企業者の事業承継を支援するため、経営基盤強化等に必要な経費の一部を助成します。

対象は、港区内で 20 年以上営む製造業や小売業、飲食サービス業等の小規模企業者で、おおむね 3 年以内に事業承継を予定していること等が要件となります。補助率は 1/2 で、上限は 300 万円です。

＜小規模企業者事業承継補助金＞

◆対象

おおむね 3 年以内に事業承継を予定している港区内で 20 年以上営む次の業種の小規模企業者
[対象業種]

○製造業 / ○卸売・小売業 (一部を除く) / ○飲食サービス業 / ○生活関連サービス業 (一部を除く)

◆補助内容

経営基盤強化等に必要 50 万円以上の機械・装置等の購入に係る経費の一部を助成
補助率 1/2 (上限 300 万円)

◆申し込み

所定の申し込み用紙に必要事項を記入のうえ、産業振興課産業振興係にご提出ください。

◆募集枠

4 社程度 (申し込み順)

詳しくは、産業振興課ホームページ

「MINATOあらかると」<http://www.minato-ala.net> をご覧ください。

＜問い合わせ＞産業振興課産業振興係
電話：03-3578-2552

「私たちはこんなCSR活動をしています」 取組事例を発表する企業・団体を募集！ ～みなとCSRダイアログ～

「みなとCSRダイアログ」は、港区内の企業やNPOと、港区在住・在勤の皆さんの「対話」を活性化し、港区発の新しいCSRの流れを創造しよう！というプロジェクトです。さまざまな立場の人がCSRやソーシャル・ビジネス、環境・社会的課題について、定期的に情報交換を行っています。

第1回目は5月20日に開催しました。「みなとCSRダイアログ」は2部構成で、第1部ではCSR活動の取組について、森永乳業(株)が「＜ピュアスター＞を通じた環境・CSR活動の取組について」、西松建設(株)が「西松建設の信頼の大樹を育てるCSR活動」を発表し、第2部ではワールドカフェ(グループ)方式で社会課題について討議し、有意義な意見交換が行われました。

「私たちはこんなCSR活動をしています」という港区内の企業や団体の皆さんに、ぜひ、その取組を「みなとCSRダイアログ」でご紹介いただきたく、計10社(団体)を募集します。7月以降に開催する第2～6回ダイアログで、1回あたり2社(団体)です。

◆募集対象

港区に拠点のある企業・団体
(ダイアログは、港区外の事業者の人も参加できます)

◆とき

「みなとCSRダイアログ」開催日
第2回：7月15日(火)
第3回：9月16日(火)
第4回：11月18日(火)
第5回：2015年1月20日(火)
第6回：3月17日(火)
いずれも 18:00～20:00 の時間帯で開催

◆ところ

港区立エコプラザ(〒105-0013 港区浜松町 1-13-1
/ JR 浜松町駅より徒歩 4 分)

◆発表内容

ダイアログの第1部で、自社におけるCSR活動事例や、現在抱えているCSR上の課題等について、1社20分程で発表。

*第2部では、発表の関連内容について、参加者の皆さんに討議していただきます。

◆募集枠

10社(団体)
*1回あたり2社(団体)

◆申し込み・問い合わせ

港区立エコプラザ(担当：嘉藤、水野)
電話：03-5404-7764 / FAX：03-5404-7765

開館時間：9:30～20:00

(休館日：毎月第4月曜日)

<http://minato-ecoplaza.net>

みなとCSRダイアログ

—社会と企業の「対話」を活性化する

第1部 企業のCSR活動プレゼン / 40分
20分×2社

↑
事例発表企業・団体を募集中!

第2部 CSRダイアログ / 80分
ワールドカフェ(グループ)方式で、
社会課題について討議
ファシリテーター 森根(オルタナ編集長)
または、青田勝秀(オルタナ総研コンサル
タント)

*参加対象：港区内の事業者・団体、
港区内在勤・在学・在住者

*参加費：無料

*定員：40名 / 各回(申し込み先着順)

主催：港区立エコプラザ、株式会社オルタナ、
みなと環境にやさしい事業者会議
(mecc)

サイト <http://minato-ecoplaza.net>

ワーク・ライフ・バランス推進企業認定事業 ～認定を希望する企業を募集しています!～

港区では、仕事と家庭の両立支援や男女がともに働きやすい職場の実現に向けて、ワーク・ライフ・バランスの取組を推進している中小企業を「ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定し、その取組を広く紹介します。

認定を希望する企業を募集していますので、ぜひご応募ください。

◆メリット

ワーク・ライフ・バランス推進企業として認定されると以下のメリットがあります。

(1) 中小企業応援情報誌「こうりゅう」や「広報みなと」、男女平等参画情報誌「オアシス」、港区広報番組等で認定企業を紹介します。

(2) 特別簡易型総合評価方式による工事の入札の際の加点対象となります。

◆申し込み

総務課人権・男女平等参画係(区役所4階)、各総合支所、港勤労福祉会館、男女平等参画センターで配布する申請書等に必要事項を記入し、総務課人権・男女平等参画係へ持参してください。

◆申し込み期限

7月18日(金) 午後5時

※なお、申請書等は、港区のホームページからダウンロードすることもできます。

※特別簡易型総合評価方式、その他本事業の詳細については、港区のホームページをご覧ください。

中小企業融資の総合案内 <港区産業振興課>

産業振興課では港区内中小企業を対象に融資を行っています。ぜひご利用ください。

※ご相談・問い合わせは…産業振興課 経営相談担当
電話：03-3578-2111 内線：2560・2561・2556

◆港区中小企業融資あっせん制度(予約制)

中小企業の皆さんが、必要な事業資金を低利で受けられるよう取扱金融機関に対して融資のあっせんをする制度です。港区が利子の一部を補助します。ご利用ください。

詳細 URL…

<http://www.minato-ala.net/guide/assen/assen01.html>

制度名	融資限度額
経営一般融資	3,200万円以内 (2,800万円以内 ※1)
短期融資	400万円以内
小口零細保証融資 A	1,250万円以内
小口零細保証融資 B	500万円以内 (400万円以内 ※1)
小口零細セーフ融資(7号・8号)	1,000万円以内
中小商工業団体融資	5,000万円以内
受注拡大設備融資	2,000万円以内
経営革新融資	2,000万円以内
事業転換・多角化融資	2,000万円以内
事業承継融資	2,000万円以内

IT設備融資	2,000万円以内
創業支援融資	1,500万円以内 (1,000万円以内 ※2)
環境対策融資	
公害防止	2,000万円以内
アスベスト	2,000万円以内
屋上・壁面緑化	2,000万円以内
高反射率塗料	2,000万円以内
新エネルギー機器等	2,000万円以内
緊急支援融資	
セーフティネット1号～6号	2,000万円以内
セーフティネット7号及び8号	1,000万円以内
経営改善融資	1,000万円以内
港クイック(つなぎ)融資	300万円以内
借換・一本化融資	3,000万円以内

※1・代表者が港区民でない場合

※2・新規創業の場合は、自己資金の範囲内で1,000万円以内
本人負担率は、金融情勢によって変動します。

詳細 URL…http://www.minato-ala.net/guide/assen/assen_ichiran.html

その他にもさまざまな支援があります。詳しくは「MINATOあらかると」<http://www.minato-ala.net> をご覧ください。

港区に根付くお店を案内する

みなとく名店

魚可津(うおかつ)
代表取締役社長
正木秀逸 (まさき・しゅういつ)氏

■問い合わせ
住所：港区麻布十番 1-6-5
電話：03-3401-7959



代表取締役社長 正木秀逸氏

築地の仲買人も食事にも
店の繁盛は、河岸の仕入れにあり

地元にも、観光客にも
魚食の良さを伝えたい！

「ウチは代々、鮮魚店をやっていたので、魚の目利きには絶対の自信があります」そう語るのは、3代目の正木秀逸社長(41歳)です。

麻布十番という土地柄、多くの富裕層に愛された鮮魚店の看板を6年前に下ろし、現在は15年前に開店した「魚可津」を人気店に成長させました。

麻布十番の商店街にある海鮮料理店「魚可津(うおかつ)」は、新鮮でおいしい魚がたっぷり食べられると評判です。麻布十番で3代続いた老舗鮮魚店が出したお店です。ランチは1000円からで、人気メニューは魚可津御膳。7〜8種類の中から好きな魚を選べ、これに大ぶりな旬のお刺身三種盛りや小鉢等がついたボリューム満点の魚可津御膳は、1500円(税別)。夜は海鮮コース料理の他、お酒も提供しています。



ランチの準備でお刺身がズラリ お魚がおいしい、人気の魚可津御膳 1,500円(税別)

店の繁盛は、魚河岸での仕入れにあり――。正木社長はこの信念で、毎朝、築地市場に向きます。「最近ではFAXで築地に注文して、魚を届けてもらう飲食店も多いんです。でもウチは、自分の目で確かめたおいしい魚をお客さんに提供したいんです」

築地市場での仕入れ先は約40店。親しい仲買人から情報を集め、丹念に目利きをして魚を選ぶため、毎朝広い築地市場を4周しているそうです。

「だから新鮮さはもちろん、安くてもおいしい魚等、ネタの多さでも他店には負けませぬ」

「魚可津」には、築地市場の仲買人たちが食事に訪れ、交流も3代続いています。

仲買人たちは、正木社長に代替わりしても先代に叱られると思って、ヘタな魚は卸さなごうです。



海鮮料理店「魚可津(うおかつ)」

「魚可津」が目指しているのは、麻布十番という地域の特性を生かした、普段着で入れるお店づくりです。「富裕層の方でも気軽にパジャマ姿で入れる店、そして観光で来たお客さんも、気軽に食事ができるお店にしたいのです」と、正木社長は話します。

地元の人々にも、観光客にももっと魚に親しんでもらいたい、魚を通じ交流の輪を広げたい――。「魚可津」の本当の狙いはそこにあります。「魚はなれが進む今だからこそ、お店を訪れる人たちに、魚食の良さを伝えていきたいのです。魚のことがなら魚可津に行け!と言われるようになりたいと思います」

正木社長は、麻布十番青年会の会長を務め、地域の活性化にも積極的です。「麻布十番は、全国でも成功している商店街と言われ、皆さんに来てもらうようになりまし。今後も、商店会のメンバーたちと一緒に、町を盛り上げていきたいと思えます」

地域に根ざした魚のプロは、町の明日をも見据え、人気店「魚可津」のさらなる繁盛に精を出しています。

港区の匠を伝える

未来に託す 技巧

株式会社 リンテック21
代表取締役
富田真次 (とみた・しんじ)氏

■問い合わせ
住所：港区高輪 4-1-18 高輪ビル 2F
電話：03-5798-7801



代表取締役 富田真次氏

室内耐震グッズ400種を開発
強力！両面接着テープの固定具

港区高輪の株式会社リンテック21は、オフィス用から工場用まで、ワンストップで地震対策用の室内固定具が揃う唯一のメーカーです。

画期的な製品は、両面接着テープ(3M社製)を用いた固定具です。

「地震耐震用の固定具というところ、従来は壁や床に穴を開けて、ネジ等で止めていましたが、当社の固定具は強力な両面接着テープで止めます。ボルト等を使わないので、後で動かしたり、レイアウト変更が楽です」そう話すのは、富田真次社長です。

重さ10トンもある工場の機械類でも、金属と両面接着テープを組み合わせた固定具でしっかり固定できるのが特長です。

同社の地震耐震グッズは、転倒を防止する「キャビネットホルダー」や倉庫・工具棚等の落下防止用に「ドロップストッパー」等400種類。

また、両面接着テープを使った固定具以外でもキャスター付きコピー機の簡易ストッパー等を商品化しています。製品の8割〜9割が業務用で、家庭でも使える製品は一般販売しています。



キャビネット等の固定具



ネジ・クギ不要！両面接着テープでオフィス家具を固定



卓上コピー機の固定具(赤丸部分)

簡単にはがれる！
接着テープの特性に着眼

両面接着テープにこだわる理由を、富田社長はこう話します。

「両面接着テープは、お客さんが後ではがすことを前提に使っていません。テープの特性を熟考した結果、



地震時の火災防止に！プレーカーを自動的に落とす「感震プレーカーアダプターヤマリ」



垂直方向に引っ張る力には強いのですが、回転させると簡単にはがれるので壁や床が傷つきません」

同社は、阪神・淡路大震災の家具転倒のメカニズムや、公的機関による耐震試験のデータ分析・研究に力を入れ、震度6強でも転倒しない製品を多く開発しています。

「実際に現場で役に立つ固定具は、お客さんと一緒に考えることが多いです。固定具は、固定する対象物や室内環境に応じてそれぞれ違います。ですからお客さんのオーダーに、使い勝手等を考えて開発しています」と、富田社長は話します。

同社は今、地震時にプレーカーが自動的に落ち、通電火災を防ぐ製品の普及に力を入れています。また津波の教訓を生かし、車が船の代わりになる製品の企画等、他社にないアイデアで安全・安心の製品づくりに取り組んでいます。